

# 「丹沢ヴァリエーション」(第 5 回檜洞丸東北尾根・矢駄尾根)

中道

## 第 5 回檜洞丸東北尾根・矢駄尾根

平成 25 年 6 月 8 日(土) 曇り、時々晴れ

参加者 杉本 忠(リーダー)、中道 宏の計 2 名

参加者が 2 人と少ないこと、2 人だけではタクシー代も嵩むことから、リーダーが車を出し、京王相模原線永山駅で 7 時半に同乗させていただく。第 1 回タクシーで乗り入れた少し先の日陰橋に駐車。大勢の人が準備している。

腰痛養生中であるのでゆっくり歩くようお願いし、

9:00(GPS 標高 543m、以下、同じ) 発、しばらく林道を歩く。

白い花が満開である。



9:43(724) 北東尾根入口

檜人工林の作業道を登る。1100m 辺りからブナ林、なかなか見事である。

頂上より少し下で昼食を摂り、

12:29(1551) 頂上へ。

これまで人に遇わなかったのに大勢の登山者の賑わいに驚く。

檜洞丸は 3 度目であるが、この道が最高。

下山にかかったところにつつじがまだ咲いている。有難い。



13:11(1503) 矢駄尾根へ。

リーダーによると、かつて矢を馬の背で運んだ道とのこと。この急登を馬が登ったものだと感心する。途中ブナ林が美しく、またよく造林したものだと驚嘆する檜の人工林が続く。



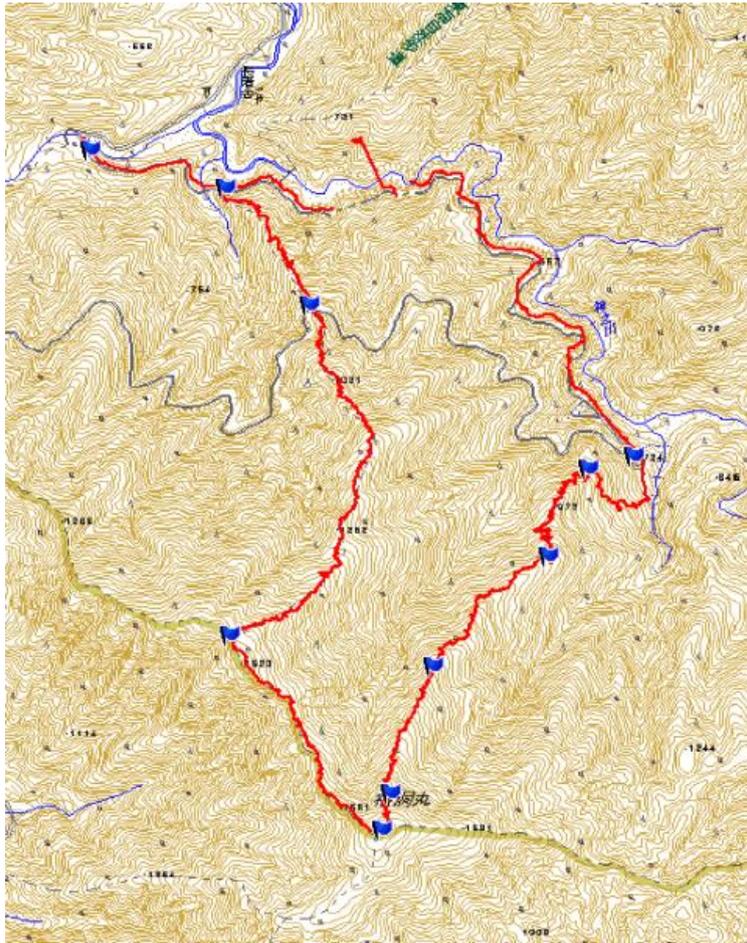
下山者1組に会う。

14:18(896) 林道、すぐ人工林へ。

14:49(581) 林道

15:00 日陰橋

上り下りとも人工林作業道の快適な道で、新緑のこの時期だけでなく、つつじの頃、紅葉の頃、また積雪期には違った趣も期待でき、再訪したい。今回と同様、登りは北東尾根、降りは矢駄尾根が楽ではないか。なお出発地点で蛭除けスプレーを使用したけど、蛭には遭わなかった。



人工林の作業道を歩かしていただいている

(平成 25 年 6 月 8 日 記)